

みんな

よくなれ

令和五年十月十八日発行

29回生通信
第24号

実りの秋

第三回定期考査期間の真っ最中です。
29回生のみなさん、勉強お疲れさまです。皆さんからは学年通信なんて読んでる暇はない。そんな反応も返ってきそうではありませんが、学年通信第24号をお届けします。

今号のメインは、「いのちの教育講演会」です。東田先生のお話は、これまでのどの講演会よりもストレートに心に響くものでした。29回生が書いた全員の感想からもそのことが伝わりました。先生のお話が真っ直ぐなものでしたから、みなさんの感想も真っ直ぐでした。個人的な体験に触れて、いつもなら秘密にしている類のことが書かれている感想がいくつもありません。

各クラス一名ずつの感想を載せます。掲載を快く承諾してくれた五名には感謝申し上げます。五人の感想を読むことで、あらためて東田先生の講演を思い出し、命の大切さを心に刻んでいただく機会になれば幸いです。

十月二日は、後期の始業式でした。その後、タイのトリナム高校の歓迎式典が行われました。29回生の七家族がタイの生徒を受け入れてくださいました。彼らはバディの教室と一緒に授業も受けました。五日には秋晴れの下、体育大会が行われました。29回生の活躍が光った体育大会でした。総合優勝こそは三年生に譲りましたが、総合二位と三位を占めることができました。体育大会の成績や感想は、次回の「みんなよくなれ」に掲載いたします。

さて、木曜日に試験が終わります。翌金曜、四時間目には研修旅行の結団式を夢創館で行います。六・七時間目は芸術鑑賞です。今年の芸術鑑賞は、劇団自由人会による「夢をかなえるゾウ」青春ロボット編」を観劇します。この感想も次回以降の通信に掲載します。

さてさて、来週から研修旅行です。初めての海外旅行という人も多くて、いろいろと不安や心配もあるかもしれません。しかし、不安も心配も全く不要です。気軽さと、何とかなる精神で、台湾での四日間を29回生みんな楽しんでほしいです。

せっかくな海外に行くのですから盛りだくさんのメニューとなっています。夕食後に夜市に出かける日もありますし、京劇を観劇する日もあります。朝、寝坊して出発に間に合わないというだけではいけないように睡眠をしっかりとりましょう。楽しかった思い出を学年通信で報告できるのが楽しみです。



いのちの教育講演会

九月二十二日（金）三・四時間目に、いのちの教育講演会が行われました。講師は、市立加西病院産婦人科部長の東田太郎先生でした。

「いのちって何だ」という講演テーマで、命の誕生に立ち会う産婦人科医としてのさまざまな経験を写真とともに話してくださいました。産婦人科医は、最初に赤ちゃん抱くことができる職業です。その一方で、医師資格を失うかもしれないという職業生命をかけて出産に立ち会っているとも話されました。

母親の中で育つ胎児や、子宮がんの映像が印象に残っている人もいると思います。医師なのに助けることができない命もあるというお話も忘れることができません。29回生の感想を紹介します。

謝辞

三組 藤田 夏穂 さん

本日はお忙しい中、私たちのために時間を作っていただき、貴重なお話をありがとうございました。先生の話を聞き、私たちはたくさんの人に愛されてここまで育ってきたことを改めて感じました。命の大切さ、重さを痛感しました。これから立派な大人になるうとしていく私たちにとって、今回の講演会は、将来のためのいい学びとなりました。本当にありがとうございました。



講演会を終えて

一組 矢村 悠翔 さん

今回の講演会で「いのち」というものに対して改めて向き合うことができました。自分が普段当たり前に生活できているのは、産んでくれた親がいて、助産師さんがいて、成長していく過程でお世話になったいろんな人がいるからだということについて、あまり考えたことがなかった。新しい考え方としてとも参考になりました。

100%の状態でも生まれてこれた自分のような子がいるなか、22週に到達せずに救えなかったり、不運な事故に巻き込まれて亡くなってしまったりするケースもあるという実態を知り、とても胸が痛みました。100%の状態でも生まれてこれたのは、助産師さんが安全に自分を扱ってくれたのと、親が大切に育ててくれたからなので、いざ、自分とパートナーとの間に赤ちゃんができた時に、同じように扱ってあげようと思いました。自分たちの子どもを作ると決めたら、最後まで責任をもって寄り添ってあげ、子どものことを思い、大切に育てたいです。実際には記憶がないことですが、赤ちゃんの頃から可愛がってくれた親の気持ちを考えて、これから成人して巣立っていても、親に感謝して立派な大人になりたいです。

そのためにも、高校生の間にいろんなことにチャレンジして自分を伸ばしていくと同時に、将来やりたい自分になるために夢や希望を見つけて、それに向かって前進していきたいです。つらい時も心の支えにできるようにまくコントロールしながら、逃げずに後ずさりをして、大きく一歩を踏み出せるような人になりたいです。本当に貴重な講演を聞くことができて良かったです。ありがとうございました。



命の大切さ

二組 馬場 美翔 さん

赤ちゃんは500gから助けることができる医療を提供していると聞いて驚きました。また、サララップを巻くことで体温を下げにくくできるそうです。

もし、街中で倒れている人がいたら、足を心臓より上にするということを覚えておきたいです。妊娠22週目で、赤ちゃんの顔が分かれると聞いて、写真を見ると、想像以上にはつきり分かってびっくりしました。

妊娠22週からしか赤ちゃんを助けられないということを、はじめて知りました。21週6日目で、赤ちゃんとお母さんが搬送されてきて、赤ちゃんの心臓が動いていても助けることができないという事実が胸が痛くなりました。助けることができるはずなのに、救えない命があることに切なくなりました。

産婦人科とは、新しく命が産まれる素晴らしい場所だと思っていたけれど、実際にはたくさん苦勞もあることに気づきました。今、こうしてここまで大きくなったのは、生まれた時から多くの人に愛を注いでもらったからだと分かりました。

これからも「行つてきます」など、挨拶をしっかりとし、感謝の気持ちを忘れずに生活していきたいです。自分の味方は自分であることを心に留め、これから生きていきたいです。素晴らしい講演ありがとうございました。

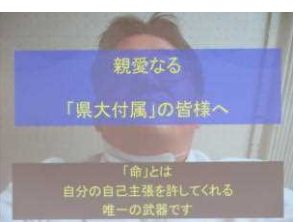


講演を聞いて

三組 國重 彩花 さん

今日、医療に関する話を医者の方から聞くことができ、学ぶことができました。まず、前半のお話では、医療の専門的な知識や用語を知ることができました。ICUに設置されているカウンターシヨックという器械や臨床工学技士など、初めて知ることがわかりました。

私はこれまでAEDの使い方の講習を受けたことがないので、いざという時、すばやく動けるように勉強しておきたいと思いました。産婦人科の仕事は新しい命に一番に会うことができるすばらしいものである反面、時には死産に立ち会ったり、母親と子どもの命を預かったりする責任の大きい仕事でもあることを改めて感じました。私が生まれた時も産婦人科医や家族などたくさんの方々に支えられていたんだと思うと感謝の気持ちでいっぱいになりました。今日紹介していたいただいた赤穂での事故では、母親とお腹の中にいた子どもの命が失われてしまった、残された遺族の気持ちや二人を助けようと尽力したお医者さんの気持ちを考えると胸が苦しくなりました。しかし、先生が残された子どもにかけた言葉を聞いて、少し安心できました。当時、その言葉はその子どもにとつて些細なものだったかもしれないけれど、今は必ずその子の支えになっているだろうと思います。私もこれから辛い経験をすることも思いますが、今日の講義や周りの方への感謝を忘れずに精いっぱい生きていきたいです。



生きるために

四組 尾崎 梨乃 さん

私は中学の時にも「命」についての講演を受けました。でも、今回の講演は前回よりも深く深いものとなりました。生まれてくる赤ちゃんはみんなが元気ではなく、お腹の中で亡くなってしまったり、声を上げて泣いてくれなかったりして辛い気持ちになることもあるので、今、私があるのは本当に幸運なことなんだと感じました。助産師の方は、生まれてくる赤ちゃんをサポートしてくださり、妊婦さんと一緒に戦ってくれるイメージがありました。それは本当だと改めて確認しました。不安に思っている人たちの近くに寄り添って不安を和らげたり、ポジティブな言葉をかけてあげること、安心した気持ちにさせることができるということも助産師さんの凄いと感心しました。産んでくれたお母さんにしっかり感謝し、愛情を注いで育ててくれる両親・祖母を大切にしたいと強く思いました。

大切な人が亡くなって、改めて大切さに気づいたというお話を聞いて思ったことがあります。それは、日ごろから感謝を忘れず、顔を見て楽しく話したり、笑ったりして一日一日を大切にすることです。いつでもどこで何があるか分からないので言葉も大切にしたいと思いました。もし、赤ちゃんと出会ったら、しっかりと育てて大切にしたいです。辛いことやしんどいことがあったとしても友だちや家族に相談して乗り越え、幸せな家庭を築きたいです。今日はとても学ぶことができて、ためになりました。本当にありがとうございます。

生きているということ

五組 中島 輝 さん

谷川俊太郎さんの詩「生きる」を思い出しました。生きているということ。いま生きているということ。泣けるということ。笑えるということ。怒れるということ。つい数週間前にもおじいちゃんに親への感謝や生活習慣の改善について哲学的に説いてもらって泣いてしまったばかりですが、僕が生まれたとき両親はどんな気持ちだったのか。親戚のみんなはどんな気持ちだったのか。その目線で教えてくださった今日の講演でも涙が出ました。また、おじいちゃんに説いてもらってからはほとんど何も変わっていないことを痛感しました。

先生は元気、笑顔、挨拶の三つを大事にしたいと仰いました。一日に一回は笑顔を作ってみなさいと仰いました。好きなことや趣味を見つけて打ち込みなさいと仰いました。趣味は引き続きやっていこうと思いますが、元気や笑顔、挨拶は日によってできていない日もあります。今朝も小学生に挨拶ができなかったから来週からは見かけたら必ず「おはよう」と言おうと思っています。笑顔はちょっと嬉しいことがあれば少しでも口角を上げようと思っています。ずっと夜更かしをしてしまっているのを、それを改善するところから元気になろうと思っています。生きています。産んでくれた親が支えてくれている。何気ない感謝を頭の片隅に残しておきながら、親への恩返しと、病氣も戦争も無くならない社会に直接じゃなくても貢献できる可能性をもって、勉強に生きていくことに精を出そうと思います。



歓迎！トリアム高校

五月にコロナウイルス感染症が五類になり、附属での国際交流が四年ぶりに再開しました。29回生の台湾への研修旅行もその一環です。夏休みには、希望者がアメリカ、オーストラリア、タイの各国を訪問しています。その返礼として、十月にタイのトリアム・ウドム・スクツサー高校の2名の先生と13名の生徒が附属高校生宅にホームステイをして一週間を過ごしました。授業に参加するだけでなく、体育大会ではパラエティラリーやフオークダンスにも参加しました。

29回生の授業に参加した7名とそのホストを紹介します。また、ホストの一人に感想を寄せてもらいました。



二年一組

- Miss トランキニー ナーロード (カーオ) 尾崎 志帆さん
Mr. トータラグン リムサーワト (サン) 中村 亮介さん
Miss ナッタナン ルアンオン (ポーチャイ) 福本 愛さん
二年二組
Mr. タウィーワット サップターランクン (アーム) 瀧川 夢人さん
Miss バッターラポーン コンスー (ジャム) 渡辺 幹太さん
二年三組
Mr. ナッティイー インキトウイワット (クリス) 井上 陽登さん
二年四組
Mr. ピーラパート ライサーン (タイ) 片岡 庵さん
※ () 内はニックネームです。

タイの留学生を受け入れて

四組 片岡 庵 さん

僕は、初めタイという国はあまり治安の良くない国だと思っていたが、交流をして、タイの良さを知りました。パディも日本に来て、日本の良さをさらに知ってくれたように思いました。タイの留学生との一番の思い出は、神戸と一緒に買い物に行ったことです。留学生の好きな服を見に行ったり、美味しいいりご飴のお店に行ったり、とても充実した日々になりました。

研修旅行直前の説明会

十月十三日(金)に研修旅行の直前説明会が体育館で行われました。JTB姫路支店の岡部さんが、研修旅行の行程・学校加入の保険・外貨(台湾ドル)の申し込み・機内持ち込み制限と荷物(台湾ドル)の申し込みを説明してくださいました。その後、養護教諭の玉田先生、研修旅行担当の中島先生も話をされました。

この説明会には81名もの保護者からの参加希望がありました。在籍者の半数を超えています。関心の高さも窺えます。また、直前の案内となりましたが、リモートでも視聴していただきました。当日、リモート視聴者は40名を超えました。参加いただいた保護者の方々に感謝申し上げます。



29回生の活躍と表彰

九月二十七日(水)に前期終業式が行われました。式の後には、各部活動の表彰が紹介されました。西播大会三位以上の表彰者を紙上に掲載し、活躍を讃えたいと思います。



壇上に整列した7名の29回生

水泳部 第74回西播高校水泳競技大会

女子50mバタフライ 第三位 南家 亜衣さん

陸上競技部 第58回西播高校ジュニア陸上競技選手権大会

- 男子トラックの部 第二位附属高校代表 五組 藤田 湧喜さん
男子100m 第二位 三組 井上 陽登さん
男子200m 第三位 一組 前田 風牙さん
男子110mハードル 第二位 一組 前田 風牙さん
男子走り幅跳び 第三位 一組 高松 航大さん
男子4x100mリレー 第三位リレー代表 二組 小松 暖さん

夏休みがんばり教室

今年も夏休みに「夏休みがんばり教室」が開催されました。「がんばり教室」は、安栗市の健康福祉部社会福祉課が安栗市の小学生を対象に実施しているボランティア活動です。29回生の二名が参加しましたので紹介をします。

- 二組 大前 響輝 さん
二組 テルファ 琉偉 さん
実施場所 安栗市立山崎小学校
実施日 五回(7/21・7/28・8/4・8/18・8/25)



今後の行事予定(2年生関連)

- 10月
16日(月) 第3回定期考査
~19日(木)
19日(木) 寮大掃除・寮生集会
20日(金) 芸術鑑賞会・研修旅行結団式
23日(月) 台湾研修旅行
24日(火) B&Sプログラム
25日(水) 選択研修 九份・十分観光
26日(木) 故宮博物館 帰国
27日(金) 休業日
28日(土) 理数甲子園
29日(日) 全統模試(郊外)
31日(火) 高大連携授業
11月
3日(金) 文化の日 寮生父母の会
4日(土) 進研実力試験~5日(日)
11日(土) 30周年記念行事
13日(月) 代休<11月11日>
18日(土) 第2回オープンハイスクール
23日(木) 勤労感謝の日
24日(金) 代休<11月18日>
28日(火) 高大連携授業
12月
8日(金) 第4回定期考査